

ペシャワール会報

No.6

～アジアで共に生きる～



ペシャワール通信 (2) 中村先生を訪ねて (4) パキスタンに伝わる民話 (6)
パキスタンあれこれ (7) 中村哲先生帰国報告会のご案内 (9)
1984年度会計報告 (10) ナンガパルバートへ (11) 会員の皆さまから (12)
ライ病患者用靴工場に関する計画 (13) 編集後記 (14)

ペシャワール通信(5)

中村尚子

皆様お元気でいらっしやいますか。日本も、うっとうしい梅雨時期を迎えますね。

私達は、ペシャワールに来て四ヶ月になります。もうずい分、こちらに居ついているような感じがします。一月下旬日本を離れて、今のこの家に落ちつくまで三週間程かかりました。イスラマバードに着いて、私達の日本から持ってきたトシチカイ荷物を受けとるのに、中村は、ずい分苦勞したようです。空港では、まだ荷物は着いていないという返事。さあ困ったなあと思っていたら、日本の商社の人がテレックスで追跡調査をして下さり、やはり到着しているとのこと。ホッと安心したところ、税関で七十箱余りの箱をみんな開けさせられ、一日飲まず食わずで、くたくたに疲れて、夕方ホテルに帰ってきました。

ペシャワールでは、家がまだ整っていませんでしたが、幸い国連関係で昨年四月から働いていらっしやる浅羽さん一家に二週間近く厄介になり、ほんとうに助かりました。まだ子供が小さいので衣食住が安定するのが、母親として一番の願いです。この二週間程の間に、急ピッチでジュータンを敷き、台所用品を集め、ベッドを買い、とりあえず寝泊りができるように準備しました。が、ま

だ慣れない場所なので、どの店に何があるのか、相場はいくらなのかわからずに何軒かまわってやつと買い求めても、力車でとことこ持ってくる状態であげくのは他の店の方が、もつと安く求められたものもあつたりしました。

一応、家の準備も整い新居で生活を始めることができたが、なんと

毎日が忙しいことか。朝起きて夜寝るまで、要するにおさんどんです。三度の食事を中心に掃除、洗濯、子供の世話、これらは日本にいても同じことですが、住宅事情が良すぎて、広い部屋にみな掃除機をかけると腰が痛くなるし、洗濯はまだ洗濯機がなかったので、こちらのクリーニングにたのんだら、服の色はあせるし、穴はほげてくるので、結局自分で手洗いますようになり、これがま



部屋でくつろぐ中村ご夫妻

たひと仕事。息子の健はお腹がゆるんで、とりかえるオムツは、ほとんどウンチで汚れていました。買い物は、力車で主人に連れて行ってもらうか、通称ババ(七十三歳・おじいちゃんという意味)に暇がある時つれていってもらって、一週間分ぐらい買ってくるのですが、はじめの間はどうしても不足する物があります。子供達は、牛乳を飲みなれていますが、時に腐れているので注意しなければなりません。

野菜、果物は、おいしくて豊富です。野菜は日本と同じく、ほとんど何でもありますが、ごぼう、かぼちゃはないようです。果物は冬から春にかけて、キノという柑橘類が出まわり、味が濃くて、大変おいしいものです。あとはリンゴとバナナ、五月にはいるとメロンが出まわり、これもまたおいしく安く手にはいり、近頃では、スイカが出はじめ、路上に山積みされています。

肉は朝、肉屋が注文にきてくれ、午前中のうちにつぶして持って来てくれます。しかし、慣れないうちは、なんと気持の悪いこと。チキン一羽、マトン一kg、ビーフ一kg、ビーフミンチ一kg、普通これだけを一回にたのみますが、持ってきた時は、まだ



秋子ちゃん(上)と健くん(下)

生温い感じがします。チキンは、まだ少し毛が残っているし、ビーフやマトンも骨つきのかたまり。日本のマーケットにある肉が、なんと美しく想像されることか。一羽のチキンをさばいていたなら、娘の秋子がやってきて、これなあーにと聞きます。これは、あのニワトリよなんて答えられないし、さあ、なにかしらねと、私もとぼけます。魚はイストラバードで手に入ります。魚好きの私達は魚は口にはできないと諦めていただけに、この事はちょっととした救いです。

こちらに来て、初めの二か月間位が、特にきつかったように思います。今も忙しさは変わりありませんが、こちらも徐々に生活の要領を得てきました。

秋子も、四月下旬から、地元の幼稚園に通い始めました。ことばの問題がありますが、親が心配するほどのこともなく、毎日元気に通っています。今、ちょうど三か月の夏休みに入ったところ

です。こちらは、四月下旬頃から暑くなり、今ももう日本の夏以上です。近頃秋子は、ウルドゥー語を少し覚え、歌を歌ったり、私に話しかけたりして私が「それはどういう意味？」と尋ねると、知らないといすましています。幸い子ども達も私達も、病気ひとつせず皆様の支援のもとに毎日を過ごすことができ、感謝致しております。

苦労話ばかりでしたが、細かい事まで言えばまだまだたくさんあります。が、暗い気持ちで毎日過ごしている訳ではありませんので、どうぞ御心配なく。珍しい事も多く、異国ならではの面白さもあります。町の様子、こちらの人達の生活、まだ私も、外見だけしか知りませんが次の機会にお知らせします。

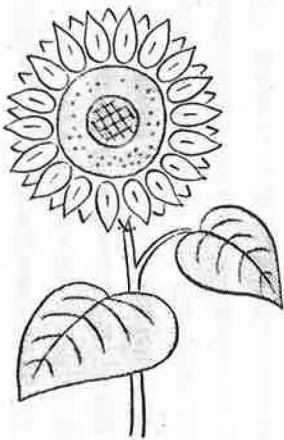
筆無精の為、乱筆乱文ですみません。皆様のご健康をお祈りします。

一九八五・五・二八

中村先生より

お元気ですか。なかなか筆をとる暇がありません。原稿は、江淵君のものは別に送り、家内のものを入れました。女房は筆不精なので、出来ばえは余りよくないですが、多忙な生活をぬって書いたので、私も余り修正しませんでした。冗長なので多少けずって結構です。努力だけでも認めて下さい。

今回はペシャワールでの生活を、奥様という立場からどのように感じていらっしゃるのか、尚子夫人に書いていただきました。編集部より



中村先生を訪ねて

辻 睦雄

大学時代に、山の仲間とインド・ネパールを旅した私は、どうしても、もう一度インドに行かねば気がすまないといった、心の乾きみたいなものを感じて、この数年を過してきました。それは、人間を圧倒するような過酷な自然と、そこで生活する人々のもつ不思議な魅力でした。ヒマラヤの美しい山や人々の暮しぶりを見ながら私達は、アジアを語り、日本を語りました。そして、何か確信みたいなのを、探しあてたような気がしていたからです。

今、平和な生活を繰り返している私が忘れかけた、あの旅行での一瞬の輝きのような思いは何だったのか？　そして、やはり、カラコルムの山行が縁で、そこの人々の生活に人生を賭けようとする中村先生を動かしたものは何なのか。

深く考えるよりも先に動いてしまおう私のペシャワール訪問の報告です。

☆ 三月一日

背中にリュック、両手に荷物の運び屋の私は、何とか他の国に迷い込むことなくペシャワールの小さな、小さな飛行場に着了いた。途中の夜のバンコクの空港で、日本人は自分一人と気付いた時の

淋しき。真夜中のカラチの星の美しかったこと。朝のモスクから流れるコーランの響きと、真紅のブーゲンビリア。機上から見たうぶ毛の生えたようなパキスタンの砂漠の大地とその中を蛇行するインダス川。私達はアメリカやヨーロッパの主要都市には短時間で行くことができても、この国ですら辺境州と呼ばれるこの地まで来るのに、どうしても福岡から二日はかかってしまう。

中村先生の家に着き、奥さんに御挨拶。美人でなおかつ、異文化のこの地でも落ち付いた暮しぶりをされているのを見て、先生の女性を視る眼のよきにも感心した。秋子ちゃん、健ちゃんもやんちゃで元気が良い。「オー」と言って帰ってきた先生と一緒に、数十年前まで外国人は安心して入れなかったと本で読んだことのある、ふるい街キッサ・ハウニ・バザールへ食事に出かけた。

バザールの入口にあたるダブガリ・ゲート。病院からわずか数百メートルにあるこの旧市街の城門跡が、インド的農耕社会を出てアフガン、ペルシャへ続く遊牧社会の本当の入口に思えた。旧市街は十五世紀来の日も射さぬような狭い路地に、何十軒も連なる帽子屋や肉屋、チャイハナや絨緞屋などがある。乾いた空気と、バザール独特の匂

い。ペシャワールは今でも、あのシルク・ロードの重要な街である。骨休めと情報交換のためアフガンゲリラがよく来る焼き肉屋の二階で、病院のことやこの街のことを聞きながら軒下の道路を歩く男達の群を見ていると、確実に日本とは異なる時間の流れ方を感じる。慣れぬ私にはもどかしささえ感じるが、どこか安らぎを覚える大きな時の流れ。そして、この街に自然に溶けこもうと努力している中村先生の姿には、与えられたものに全



ての力を注ぐ、男の静かな迫力を感じた。

☆ 三月二日

朝、教会の礼拝に出る。ムガル王朝の冬の宮殿として十六世紀に建てられて以来、いくつもの時代の変遷を見てきた建物が礼拝堂である。ウルドゥ語のミサではあるが、国や言葉は違ってもその宗教のもつ雰囲気は良く似ている。キリスト教のやさしさ、仏教の静けさ、イスラム教の意志の強さ。ミサの後、病棟を見るためにカメラを握りしめて、病院への石段を降りていく。知り合いに会う度に「サラム・アレイクム」と握手し話をする先生についていくと、受け付けの付近には、頭に布を巻いた眼光の鋭いパタン人と思われる人々が、ある者はしゃがみ、ある者は立って話しながら順番を待っている。彼らは貧しい者も多く、医療の自己負担が原則のこの国で、貧しい人から治療代を取らないこの病院は、収入の少ないこの地域の医療の重要な役割を背負っている反面、その運営費のかんりの部分を、国内及び西独、英国といった西欧の民間援助により成り立っている。ここでも西欧人のアジアとの多様な繋がりを感じた。

「サラム・アレイクム」と群集の中を抜けると、裏手の高くて厚い壁に、ひと一人通れるか位のライ病棟への通用口があった。中庭の向こうに幼稚園位の平屋の建物があり、門番が腰かけていて、傍に英語とウルドゥ語による案内がある。先生は門番、病棟スタッフ、患者のひとり一人と握手し

て話を交している。私も続いて握手する。ゴツゴツした手の鋭い爪の感覚がいつまでも残った。スタッフの一人に案内してもらおう。腕の曲った患者、足のない患者、眼の見えない患者、顔のつぶれた患者。握手して、気安くなつて写真を撮る。ファインダーから見える崩れた手、崩れた足、崩れた顔。言いようのない自己嫌悪感に押しつぶされそうになった。女性用病室が一室ある。気がひけたが促され、カメラを置いてついていく。イスラムの教えでは、女性は家族以外の男に顔を見せてはならない。まして異教徒の私である。若い女性患者は最後まで顔を布団に埋めたままであった。

先生の話によれば、紫外線に弱く、感染力も弱い



ライ病は、ほとんどが不十分な栄養状態の中での家庭内感染であり、薬さえ服用すれば決して恐しい病気ではないが、そのことが逆に、豊かな支配層からWHOまでを、もう一步撲滅に力を注がせない原因となっているとのこと。又注目すべきことはこのパキスタンやネパールなど西アジアにおいては患者が増加しているということである。それは今まで女性を中心として隠蔽されてきた患者が表面化してきたこともあるが、それよりも問題はこれらの地域の貧しい層の人々の食生活が改善されるどころかさらに悪化している点にある。この街にさえいたる所で見つる日本製品と日本での飽食を思うと、人間のもつ不条理を思わずにいられない。

☆ 三月三日

午前中、成り行きからアフガン難民キャンプを見学する。さすがに援助機関の事務所に行くくと、難民の悲惨な状況の他に政治的・軍事的な臭いも漂い、英語力が不十分なこともあり、とても緊張した。コマングラーの一人がアフガン潜入を何度も誘い、物見遊山のつもりで気軽に見学したことを反省した。彼らは命を賭けている。

夕方、中村健チャンの二歳の誕生会が、別の日本人家庭であり、日本人もう一大家族と米国家族が集まった。一番嬉しそうなのは子供達である。ここで子供を育てることは、日本のように皆と同じでは済まされない。長女アキ子ちゃんは四月から空軍のもつ幼稚園への通園が決まっていた。家庭

で日本語、学校で英語とウルドゥ語、地域でパシユトウ語といった言語環境である。この子達が、いつか日本に帰ってきた時にその才能と経験を充分発揮できるようにってれば、その時が日本が真の国際社会になった時だと思ふ。

☆ 三月四日

朝からカラチの友人に電話するため電話局に行く。同じ国内に掛けるのに悪戦苦闘の四十五分間。

昔、パンジャブ地方に、ランジャーという男性とヒールという女性がおりました。ランジャーは生まれが良く、お金持ちの息子でしたが、家族と別れて違う町に来てしまい、とうとう貧乏になりました。そして何か物をもらうために、ある家に物乞いに出かけました。そこにヒールがいて、二人は互いに一目惚れしたのでした。

毎夜ランジャーはバンスリーという笛を吹き、ヒールが唄いました。二人の愛は、ますます高まっていきました。しかし、現実

は残酷にも二人を引き離したのです。身分が違うということで、ヒールはよその町の男性に強引に嫁がされました。希望も何もかも打ち砕かれたランジャーは、そこに結婚したヒールがいるとも知らず、ある町に来てしまいます。どうしても相手

国際電話であれば一日仕事である。ようやく連絡がとれ旧市街のバザールで一人街の景色をみながら食事していると、やはり静かに景色を見ている青年と知り合う。単語ひとつ理解し得なかったが、煙草をすすめると胸を押え、ヘリコプターの絵を書いた。アフガニスタンで墜落したソ連のヘリコプターの部品が胸に刺さったとのことらしい。もう百キロメートルも行けば戦場だ。夕方、見送りをうけてカラチへ向う。

の男性が好きになれないヒール。そんな二人が再会してしまうこの不幸。もう片時も離れられない二人の愛。ますます深くなる二人の絆。そんな二人の仲に逆上したヒールの夫は、ナイフをランジャーに向けます。しかし、神のお思召しか、ランジャーとヒールの純粹な気持ち伝わったのか、二人は砂漠の中に惚然と消えてしまったのです。

パキスタンに 伝わる民話

—その1—

人々は、この至上の愛に打たれて小さな建物を建立します。今、この建物は縁結びとして有名で、二人で行って祈ると必ず幸せになるそうです。(これは五百年前の有名な物語で、映画や芝居になっています。この物語を語る時、必ずバンスリー Bansey という、竹でできた笛が使われるということです。)

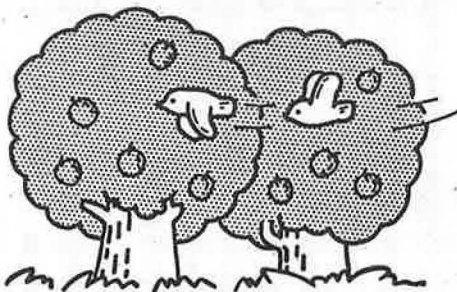
——九大留学生シャヒド・マハムドさんによる——

わをひろげよう

|| 同封のハガキについて ||

中村医師支援の「輪」をもっと広げる為に、この活動をご理解いただけるお知り合いの方を紹介していただけませんか。あなたのお名前を添えて(ご希望があれば無記名で)ペシャワール会報をお送りいたします。

同封いたしましたハガキにお知り合いの方の連絡先をお書きになってお送りください。また、ペシャワール会へのメッセージがありましたら、御一緒にお書き下さい。



パキスタンのあれこれ ②

江渕 徹男

前回に引き続きパシウトウン文学の詩人、ラフマン・ババの詩を二つご紹介致します。

愛する人のくちびるは何処に

心と魂の苦しみは何処に

きつねのぼたんは何処に

①バダクシヤンの紅玉は何処に

愛はよこしまと無我のはざまにある

へそは何処に えくぼは何処に

禁欲と放蕩の違いは小さくない

青年と乙女は何処に

寡婦とみなし児は何処に

神の教えがこの世で売るものを誰も知らない

五日間のいのちは何処に

永遠のいちは何処に

心の平安に到る迄欲望と邪心を犠牲にしなさい

エジプトの王は何処に

②デーへの召使いは何処に

世俗を捨てた隠者と権力者は一つの村には

暮らせない

③アジズ・ハーンは何処に

世捨て人アアドル・ラフマンは何処に

(注)

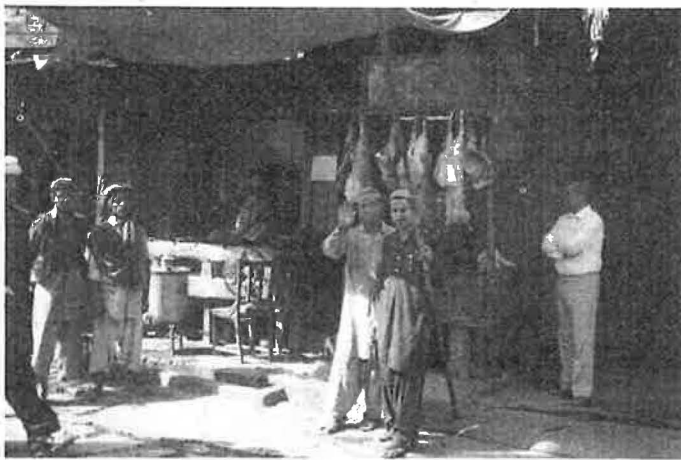
①アフガニスタン北東部パミール高原西部地方

の名

②カーブル近郊の村の名

③当時の有力者の一人の名と思われる

④「ババ」は「父」という意味の敬称で、アアドル・ラフマンが本名



グル・ハーンとジャマル・ハーンは大の親友だった

苦難の時は友情など無意味なこと

誰かがともに何かするとこういう具合だ

一人は木蔭に座り 他の一人は炎の中に

彼を誰が親友と呼ぶだろうか

これを友情とたたえることなど誰も出来ない

グル・ハーンの友人にたんと思いやりを注げ

その炎の中へ 他に友情を賭ける何があるだろうか

うか

炎の中で二人とも燃えてしまふ

神とともに、子孫達とともに死んでしまふ

私はこの様に誠実な人をおかして見なかった

①ニムロデの行いを私はこの目でしっかりと見た

炎の中へ自らを投げ入れた神の使徒達

歓びはどれ程だったろう 炎もまた彼の世界

彼は涙の雨の中で死んだのではない

救い 救い 救い

かくも残酷な人間の中で真の人となるように

この地上はだまされまされる世界になつてしまった。

まった。

天と地は 驚きに満ちている

大きな 大きな山々の前で肝をつぶしもする

この世界で水を飲み 食べ物を食べる時

学者は言う 最後の審判の日の復活は金曜日、

と

私はその流転を日曜日に見た
洪水が頭上を 木々を乗り越えて来る時
救いの道がこんなものだとはなんと悲しいこと
か

この世では損なことと得なことが起こる
イサー（イエス）とジャマルに罪は無かった
これは邪心と悪魔の隠謀だ

親しい仲間達がともに殺し合っていた
これらは全て神の栄光ある前世からの運命だと
そうではなく こうだったのだ

君主達がどの様にその齢を重ねていったか
悪臭を放つ王や学者達を見ろ

② インドの皇帝の暗殺者達
ダラーを オーランゼーブを見ろ

③ どんな救いの道が彼等にあつたか
ハサンとホセインの戦いを誰が憶えているか
全員が剣によって殉じた

彼らの血と肉の中のたうつ

この様に嵐が無数の人々をつくり出す

この世界に居住するもの達の様はこうだ

人間か 悪魔か 動物か



人間が地の上で もろともに殺りくを行つ

水の中では魚達がその肉を食らう

水の中で魚達がその肉を食べるように

空では鳥達がその肉を食らう

地を這いまわる虫と 空を飛ぶ鳥の世界

握りこぶしと首が全て

これがまたこの世を汚す

それ故 ある人達は世を捨て神秘の生活へと

帰って行く

偽りごとはこれ程にこの世を覆いつくしている

ラフマンの行いを誰に説明すればよいのだろうか

か

(注)

① ノアの子のハムの孫 狩の名人

② オーランゼーブはムガル朝第六代皇帝（在位

一六五八―一七〇七）イスラム神秘主義者の

兄ダラー・シコーは、弟オーランゼーブによ

り殺害される

彼らの父第五代皇帝シャー・ジャハーンは、

タージ・マハールを造営

③ 予言者ムハンマド（マホメット）のいとこで

四代目のイスラム指導者となったアリーの子

ハサンは敵対するムアイアの手にかかり父と

同様暗殺され、弟ホセインは、イラクのカル

バラで一族とともに滅ばされた。（六八〇年）

スタツフ募集

現在、事務局では、会計、会員の方の名簿作成（コンピュータ入力）会報配布の準備等で、八面六臂の大活躍、と言いたいところですが、実情は、スタツフ不足で四面楚歌という状況です。会員の皆様の中で月に一度でも週に一度でもお手伝いしていただける方、老若男女を問わず大歓迎です。是非お願いします。現在のところ毎週木曜日、六時半に集まっていますが、変更になることもありまますので事前にYMCA（志満）にご連絡下さい。尚、運営委員会（毎月第一土曜日、六時半）を月一回行っております。会報の編集に関心のある方も、ぜひ、のぞいてみて下さい。よろしくお願い致します。



中村哲先生帰国報告会のご案内

中村哲先生は、この7月中旬から8月中旬にご家族と一緒に一時帰国されます。先生がペシャワール・ミッションホスピタルで診療活動を始められて1年2ヶ月たちました。先生の現地での活動やペシャワール会の今後の支援内容などいろいろとご報告もございますので、会員の方々には是非ご出席頂きますようご案内申し上げます。

- ◎と き 1985年8月4日(日)午後2時～5時
- ◎と ころ 九州キリスト教会館4階ホール（福岡YWCAの隣）
福岡市中央区舞鶴2丁目7-7
TEL 712-6678

◎主なプログラム

- 1、中村哲先生報告
- 2、ペシャワール会の活動報告
- 3、その他



1 9 8 4 年 度 会 計 報 告

収入の部

1. 会費収入	3,618,554	円
2. 一般寄付	2,837,541	円
3. 指定寄付	959,860	円
4. 預金利息	49,797	円
5. 雑収入	110,000	円
収入計	7,575,752	円
前年度よりの繰越	2,691,543	円
合 計	10,267,295	円

支出の部

1. 中村医師への援助	4,373,450	円
①薬品、医療機器の購入		
②中村先生家族の渡航費の援助		
③現地の家屋補修費用、生活物資の購入		
④日本国内での活動費、移動費		
⑤現地語学研修費用		
2. 事業費（会報印刷・発送他）	840,077	円
3. 事業事務費	896,275	円
支出合計	8,109,802	円
次年度への繰越	4,157,493	円

巡回診療車キャンペーン

カラコルムの人々に“医”を運べ！

…………… “ジープ・キャンペーンの入金状況、……………

5月末現在まで、713,497円が寄せられています。ありがとうございます。

しかし、目標の500万円にはまだまだです。

主旨をご理解の上、ご協力下さいますよう、お願い申し上げます。

福岡登高会創立二十周年行事として一九八三年、実施したナンガパルバート登山は、七月十二日午前六時、キャンプIを突然襲った大雪崩の為、尊き三名の仲間の命を奪った。

その仲間のなきがらは今もパンジャブの紺べきの空に厳然としてそびえる、ナンガのベースキャンプにある。

ナンガパルバートへ

隊長 ● 新貝 勲

我々は再度この地を訪れる。

福岡カラコルム登山隊一九八五年、隊員八名。前段としてバツラ山群の北パサーI峰（七二八四米）パサーII峰（六八四二米）の登頂と高所順応を終了後、ナンガの

速攻登山を試みる。登頂予定は八月中旬より後半にかけて。「魔の山」といわれるこの山で、約五十名の者が、すでに命を失っている。

九九%のリスクを背負い、たったひとつのセーフティをかけての登山、幸運の女神が果して我々の頭上にはほえむか……帰国は八月末日。

ペシャワールに住む仲間ドクター中村哲との再

会もある。

彼が待ちわびている、みんなの善意による医療器具、薬品等をどっさりもって……

元気で帰ってきます。

福岡カラコルム登山隊

隊長 新貝 勲

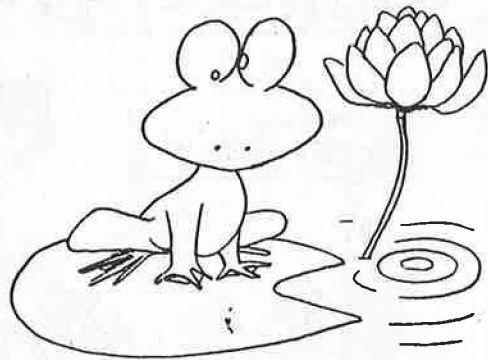
〈訂正とおわび〉

前号No.5でお知らせしました『会費の改定とお願い』の記事を『年会費の改定とお願い』に、又文中の『……会費』をそれぞれ、『……年会費』に訂正させていただきますとともに、おわび致します。

中村哲医師の講演会・集会を ご希望の皆様へ！

中村哲医師は7月中旬～8月中旬に、ご家族と一緒に一時帰国されます。つきましては、福岡滞在中に、現地での様子、今後の活動等につきまして、できるだけ多くの方々に理解して頂くために、各地での講演・集会等に出席して頂く予定です。会員の皆様で講演会、集会等のご希望がありましたら、至急、下記の事務局まで、ご連絡頂きますようお願い致します。なお、依頼が多数にわたることが予想されますので、日程につきましては、事務局で調整させて頂くこともありますので、その点はご了承下さい。

連絡先 ペシャワール会事務局(YMCA内)
TEL 781-7410又は741-3907
志満 まで



☆拝啓、天気にも恵まれたゴールデンウィークも終りますが、今回は大変お世話になりました。三年ぶりに訪れた博多は増々活気に満ちており、又、今回お会いできた◎会の皆さんのバイタリテイに終始圧倒されてしまいました。私にとっては世界中に蔓延する貧困と飢餓はマスコミによってのみ知ることが出来るものであり、◎会の様に自分の身近でそれらの問題ととり組んでおられる方々と会えた事は、大変ショッキングな事でした。そしてなにより、「楽しみ乍ら…」のモットーの基に、気負いを表に出さぬやり方は、今後共息の長い活動を行う上で大変重要な事だとも思いました。

博多からは遠い埼玉ですが、私なりにできる形での参加をお願いしたいと思っておりますので、今後共よろしくご指導下さい。

埼玉県秩父市 山下暁正

☆犬養道子「人間の大地」(中央公論社)をもう読まれましたか。中村先生の任地「ペシャワール」も出てきます。読み進むうちに、いつか新聞記事で知った、岩村昇先生が箸箱と風呂敷を携帯されているその本意が、やっとわかりました。木の大切さがやっと認識できました。

そしてまた、この日常生活の場で世界の平和を願うこと、遠くにいる兄弟の為にしてあげられる(否、しなければならぬ)ことがやっとわかりました。

会員のみなさまから

友達となつて下さる方、お便り下さい。

〒八三六 大牟田市東新町一五一 徳永倫子

☆中村先生のパキスタンにおける医療活動を支援するための募金をクラブ会員に呼びかけたところ、幸いにして全会員の協力を得ることが出来ましたので、送金申し上げます。

若松ロータリークラブ

ほんのおごすかい「アズ」パキスタンのひょうきでまわっている人のためにつかってくたさし。中村先生かんばってパキスタンのひょうきの人たちをおしあげてくたさし！お金は、ほんのおごすかい、ないけれどつかけてくたさし。

中村先生へ

かんきき こういち
神崎 剛一より

わたしの、おごすかいです。
おぐなしけん、パキスタンのひょうき、
ひとたちにつかってくたさし。

かんきき 1123
神崎 逸子より



☆ペシャワール大学に留学中のイラン人アブドゥール・レジャさんからは、現地でペシャワール会の支援をして下さるといふお便りが届きます。

Mr. Abdul Reza Mohammadi

Room No. 62 Hostel No. 9

Peshawar University,

Peshawar-PAKISTAN

中村先生は、今年のペシャワールでの主要な活動として、ライ病患者用のサンダル及び靴の生産に意欲的に取り組んでおられます。以下にその計画のあらましと、設立の際によりどころとする原則を掲載します。

『ライ病患者用靴工場に関する計画』

ステップ1 (9月まで)

- サンダルのデザイン決定
- 靴職人と、健康カウンセラーの養成
- 経営体制の検討
- 必需品と予算の見積り

ステップ2 (10月～12月)

- 靴工場の建設
- 必需品の調達
- 必要書類の印刷
- 金額の決定

ステップ3 (来年1月～)

- サンダル生産開始
- 経営体制、サンダルの型等で現状に合わない部分の改正
- 患者用の靴の生産準備開始

〈原則〉

- できるだけ現地の物(資)を利用すること
- 運営費の節約
- 全てを病院側が負担することはしない(無料で配付しない)
- 他の人々との良い協力関係を築く
- 健康管理教育と併行してやっていくこと

会則改定のお知らせ

ペシヤワール会報No.5でお知らせしました通り、年会費について改定させていただきました。それに伴い、会則を左記のように改めさせていただきます。よろしくお願い致します。

会則

- ① 本会の名称をベシヤワール会とする。
- ② 本会は、JOCSSの「共に生きる」という理想に賛同し、中村哲医師のパキスタン北西辺境州での医療活動を支援し、必要な情宣・募金活動を行うことを目的とする。
- ③ 本会は、派遣母体であるJOCSSを通して必要な協力を行うが、思想・信条にとらわれず、「支えあい」の精神で一致して会を運営する。
- ④ 会員はそれぞれ可能な範囲で、自ら創意工夫して自由なやり方で支援活動を行う。
- ⑤ 会員は一口年額三、〇〇〇円以上の年会費を納入する。ただし二口以上の人は同時にJOCSSの会員になることができる。
- ⑥ 本会は会誌の発行を行ない、会員は会の拡大に努める。
- ⑦ 本会は総会に於て若干名の運営委員を選任し会の運営を行う。
- ⑧ 毎年一回総会を開き、会計報告および会の運営について審議する。
- ⑨ 本会の事務局を福岡YMCA
(〒八二〇 福岡市中央区大名二二二八
☎七八一七四一〇)内におく。

編集後記

○ 初めてやった編集の仕事です。今までさらに読んでいた新聞や雑誌類でしたが、こんなにも大変であり、またこんなにも困難なものとは思わなかった。またやりたいのです。わく内を数をかぞえるのがきつかった。(ヨコ)

○ ペシヤワールへ行きたくしと思へど、ベシヤワールは、地理的にも経済的にもあまりにも遠し。せめて、チトラル帽などかぶりてみる。(フ)

○ 季節は夏に入り、緑濃くなりました。ベシヤワール通信も内容濃く、もつとカラフルになるよう頑張ります。(ふ)

○ もう俺、いっぱい書いたけん書くことないばい。(MU)

○ Fさん、ご指導頂きありがとうございます。いきなりこんなムズカしいことをさせおつて、ニヤロメ!! K

○ おかきがおいしい。編集したあとの実感 (K)

○ 何をすべきかわからず原稿の清書を手渡されたまま隣席された、以前出版社に勤めていらつしやつた初対面の彼女に全面的に頼りきり訳のわからぬまま何とか終る事ができました。藤山さんありがとう！編集長の意地悪！ (N)

カラコルムの人々に
“医”を運べ



連絡先
ベシヤワール会
事務局
福岡市中央区大名1-12-8
TEL 092-781-7410
代表口座番号 福岡6-32253
口座名称 ベシヤワール会
ジープキャンペーン委員会
代表者 佐藤雄二

○ 「人間の大地」を読んで、自分で何かできる事はないかなと思っていた折、ベシヤワール会の会報に編集のお手伝い募集中とのこと、末長く楽しくやっていきたいと思つてます。(ま)

○ いよいよメランコリックな雨到来。移り気なという花言葉を持つ紫陽花の、あでやかさに目をうばわれる。そんな梅雨をどう快適に過ごすかもつか思案中であります。(M・T)

○ いよいよ3日後に、「花の都」ベシヤワールへ旅立ちます。出逢いを大切にしたいな。みんなは、私に多額の保険を掛けると言うけど、私は元気に帰って来るゾ！行って来ます。HIRO